

# しもやま

支所だより Vol.188

下山地区データ		
人口	4,314人	(-111)
男性	2,148人	(-61)
女性	2,166人	(-50)
世帯数	1,675世帯	(-5)
11月1日現在 ( )は前年同月比		

令和2年12月15日発行

## 女性有志による企画・運営

### 『しもやまるしえ』大盛況！

11月15日(日)香恋の館で開催された、「しもやまるしえ」について、実行委員会の長坂真理子さんにお話を伺ってきました。

当日は、1,500名のお客様にご来場いただいたと聞き、喜びでいっぱいです。お越しいただいた皆様ありがとうございました。

しもやまるしえは、下山の子育て中の女性5人が実行委員となり、企画・運営を行いました。

大人から子どもまで楽しめる事を下山でやりたい、下山と市内中山間地域との新しい交流の場（問題共有と仲間づくり）をコンセプトに、自然豊かな下山を知ってもらう、下山のファンを増やす、下山っていいな、住みたいな、住み続けたいな、戻ってきたいなと思うきっかけの一つになるよう準備を進めてきました。

ステージでは和の楽器での生演奏、ジャズ、絵本の読み聞かせなどがありました。子ども達が遊ぶ声が響き、ヤギとの触れ合いを親子で楽しむ姿があり、会場はとても温かい時間が流れていました。

地元下山のお店には、五平餅、無農薬・減農薬の野菜、お茶、新米、藍染めなど、こだわりの商品が並びました。地区外からはキッチンカーでの出店やワークショップ、飲食・物販など身体にいいもの、優しいもの、珍しいものが並びました。お客様と出店者、また出店者同士のやり取りの中から、新しい出逢いがあり、繋がりの輪が広がっていると感じました。



▲実行委員のメンバー左から、原田三希子さん、祖父江奈々子さん、長坂真理子さん、坂井うららさん、稲本加奈子さん



▲香恋の館で開催された『しもやまるしえ』にステージやヤギとのふれあいスペースをはじめ、26店舗が集まった

今回しもやまるしえを目的として、初めて下山に訪れた方々より「駐車場が満車になっていたお陰で、三河湖やその上まで行けて自然の豊かさに癒された」「三河湖畔のお店や野原川観光センターで食事をして美味しかった」とのお声をいただきました。

しもやまるしえを通じて下山を知り、楽しみ、また来たいと思ってもらえたことが嬉しいです。

様々な場面で下山の方々に協力・応援していただいたおかげで開催できました。心から感謝しております。次回の開催も楽しみにしてください。微力ですが皆様と一緒に下山を盛り上げたいです。

と長坂さんから、力強いコメントをいただきました。下山愛を感じる素晴らしいイベント企画！次回の開催が待ち遠しいですね。



しもやま支所だよりは豊田市ホームページからも見る事が出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>

編集・発行/豊田市役所下山支所/毎月15日発行/〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1/

TEL 0565・90・2111/FAX 0565・90・3344/E-mail shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

# 私たちの住むしもやまのこと

## ～ “下山まちづくりアクション”



下山の人口は、この10年で約2割減っているだって。高齢者も増えていて、10年後には4人に1人が高齢者なんだって。



下山には、豊かな自然などの資源がたくさんあるから、いくのは大変だよな。

地域や住んでいる人を守るためにも、みんなで地域の活性化に取り組む必要があるよね。だから、みんなでプランを作っているんだよ。



遊びに来たり、お人もたくさんいるのよ。そのことを交流人うんだ。住んでそういう人も増



人口減少や高齢化が進んでいるけど、自治区などの地域の活動は大丈夫かなあ。



この計画は進めていく

今後も地域が持続できるように、自治区ごとでも、自分たちで考えて、行動するプランを作っているんだよ。



この計画みんなで作るプランな



### まちづくりに大切な2つの考え方



やっぱり  
下山が好き！

住民・  
事業者・  
行政など  
共働による  
まちづくり



『 WE LOVE しもやま 』

みんなで楽しく未来をつくる

#### まだ間に合います！

下山まちづくりアクションプランの策定にあたり、“あなたができること”や“あなたのご意見”を募集しています。

支所だよりと同時に配布した「まちづくりアクションプラン意見募集」をご覧ください。

また、プランの詳細をご覧になりたい場合は、自治区・組の集会所や市役所下山支所に、冊子を設置しています。

10年後のしもやまのために 自分や自分たちの



たかはし れいこ  
高橋 令子さん  
(花沢町)

## 地域とつながる憩いの場所へ

花沢3組に地域交流の場「里いものうち」があることをご存じでしょうか？

代表の高橋令子さんは、第2の人生を下山で暮らすと移住してきた方。地域の方たちのやさしさに触れながら訪問美容師として地域を回る中で、「お年寄りなどが集まれる交流の場が必要」と感じた高橋さん。

地域の方に何かできることはないかと、自宅を改修して平成28年に「里いものうち」ができました。毎月第1、第3月曜日に、地区内外から参加者が集まり、やりたいことを考えたり、ものづくりなどをし、ランチを食べて1日を過ごします。

「里芋は地付きの物で、親芋があって子芋、孫芋とつながっている。地域のみなさんと『地』つづきでつながってほしい。」と高橋さん。そんな思いが詰まったとおりの素敵なおうちでした。

■問合せ 「訪問美容 十五家」「里いものうち」 電話 77-7471



▲しもやまバスのバス停もあり利用しやすい



▲「さるぼぼ」作成中！手仕事で脳も活性化



地域記者の  
突撃リポ〜ト



やがみ あいの  
矢上 彩乃さん  
(名古屋)

『香恋の里しもやま観光 PR大使』として、下山地区の観光PRやイベント司会など幅広く活躍中！

## 下山再発見！ 電動レンタサイクル 試行

下山の自然や魅力をより肌で感じてもらおうと、三河湖周辺等の観光地で電動機付き自転車をレンタルする取り組みを11月の土日限定で試行的に行いました。私は、受付ブースを担当させていただきましたが、体験を終えて戻っていらしたお客様の「気持ち良かったよー！」という言葉と笑顔が紅葉と重なりすごく綺麗だったのが印象的です。

下山は自然もちろん魅力の1つですが、来てくださるお客様の笑顔も財産だと実感しました。このような情報を大切にしながら、これからも広報活動をしていければと思っています。ぜひ地元の皆様も下山再発見のプチラベルにお出かけくださいませ。



▲電動なので気軽にサイクリングが楽しめます！

## お知らせ information

### 空き家対策への相談窓口開設！

豊田市喜多町（KITARA 4階）に、空き家相談士や不動産鑑定士など有資格者と相談できる、空き家対策相談窓口（トヨタリジエ）ができました。空き家や空き家になる前の不動産対策について、始めの一步となる窓口としてお気軽にご相談ください。電話での相談もできます。

■問合せ 特定非営利活動法人あいち・空き家修活センター 電話 47-8611



### 三河湖 SS プロモーション動画(ラリー紹介動画)完成のお知らせ

三河湖 SS 広報部さんが「わくわく事業」にて制作した動画がインターネット動画投稿サイト (YouTube) で公開されました。ぜひご覧ください！



### お詫びと訂正

しもやま支所だより11月15日号1ページに記載した、福山理江さんの「江」の字が「恵」となっておりました。訂正しお詫び申し上げます。

# 下山交流館 まなびのひろば

豊田市下山交流館

開館時間：午前9時～午後9時

(図書の貸出・返却は午後8時まで)

休館日：月曜日(祝日、振替休日を除く)・年末年始

連絡先：TEL0565-91-1650/FAX0565-91-1030

ホームページ：<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

指定管理者：公益財団法人豊田市文化振興財団



## 事業報告

多くの皆様のご参加  
ありがとうございました

### ビームライフル体験講座 ～オリンピックへの道～



10月31日(土)

参加者 26人

子どもから大人まで幅広い年齢の方がビームライフル体験を楽しみました。射撃場見学では、クレーの発射台などなかなか入ることができない場所の貴重な見学ができました。また参加したいと大変好評でした。



### トヨタテストコース見学会

11月1日(日)



参加者 237人



自然の地形を利用し、複雑なコーナーを備えた5.3kmのカントリー路を周回し、中工区と西工区をつなぐ連絡橋の渡り初めをしました。欄干には現在に至るまでの工事状況が展示され、スケールの大きさを実感するとともに、今後への期待も膨らみました。

### 大人の趣味

#### そば打ちをたしなむ



11月11日(水)

参加者 12人

最初に講師のデモンストレーションを見学してから、そば打ちの体験をしました。出来上がり後、自分で打ったそばと講師が打ったそばを食べ比べました。同じ材料でも全然違う出来上がり、そば打ちの奥深さを感じました。



～ありがとうございます～

### 冬の花壇に変身！

11月4日、花壇ボランティアさんが、冬の花壇へと植え替えをしてくださいました。葉牡丹とビオラの成長が楽しみです。ご来館の際にはぜひ花壇もご覧ください。



## お知らせ

### 令和3年下山地区新成人を祝う会

日時 令和3年1月10日(日)

受付 10時15分～11時

式典 11時～11時40分

会場 下山基幹集落センター

※お手元に届いた案内状をご持参ください。



### 年末・年始の休館

令和2年12月28日(月)～  
令和3年1月4日(月)まで

1月5日(火)9時より  
通常開館いたします。

来年もよろしく  
お願いいたします。



忘れ物は  
ありませんか？

忘れ物にお心あたりのある方は窓口にお申し出ください。1月末で処分させていただきます。



# みんなで考え 行動しよう

アクションプラン”を策定しています～

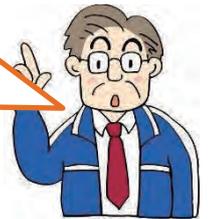
自然や伝統芸能、お祭り  
があるけど維持して  
。

お手伝いをしてくれる  
るよ。そういう人たち  
人口や関係人口ってい  
いる人だけじゃなく、  
えるといいね。



下山に住み続けるためには、何があったら  
いいのかなあ？

下山に住み続けるために、まずは安心  
して生活できる環境が必要だね。  
あと、自分たちのやりたいことが出来  
て、わくわくできるといいね。



は、誰が作って、誰が事業を  
くの？

面は、下山を良くするために、  
で考えて、**自分たちが行動**する  
よんだよ。

## プランに関わってくれた団体

下山地域まちづくり推進協議会、区長会、下山地域会議、しもや  
ま里山協議会、里楽暮住しもやま会、下山商工会、香恋の里しも  
やま観光協会、下山地域営農協議会、地域学校共働本部、下山中  
学校、大沼小学校、花山小学校、巴ヶ丘小学校、大沼子ども園、  
東部こども園、子育て支援センター、下山交流館、社会福祉協議  
会下山支所、下山地区コミュニティ会議、自主防災会、阿蔵地域念  
仏踊り保存会、下山三河万歳保存会、三巴地域巴太鼓保存会、大沼雅  
楽会、わくわく事業活動団体 など

## WE LOVE しもやまフェスタの開催及び出展者の募集！

アクションプラン完成後のキックオフイベントとして、「WE LOVE しもやまフェスタ」を開催します。

これからこの下山地域がどんなまちになるのかな？ どんな人がどんな活動をしてまちづくりを担っているのかな？ 自分が住んでいるまち、下山のことを楽しく知ることが出来るイベントです。みんなで一緒に下山の未来をつくる第一歩を踏み出しましょう！

**と き：令和3年3月20日（土）午前10時～午後2時**

**と ころ：下山中学校体育館周辺**

※詳しい内容は、今後の支所だよりでお知らせします。乞うご期待！

### 出展者求む！

日頃、地域で行っている活動を知ってもらいたい！いろいろな団体と交流して活動の輪を広げたい！など、地域で頑張っている活動している方の出展を募集します。

出展希望の方は、1月8日（金）までに豊田市下山支所までご連絡ください。

できることから まちづくりに参加しましょう！

おしみなく水をくめる

# 観音みた水の井戸(さみだれ井戸)

絵と文をまもるこころ



田折の清寿院の山裾に、雨でいで有名なあの田植之観音様が足を洗うようになったと言われ、井戸があるよ。観音様は雨を降らした後、婆様の姿で遅れた田植を手伝い、足元が泥だらけになったので、この井戸で足を洗ったと言われ、その水で濁ったこのない井戸の水が一時濁ったと言われ、この井戸は「観音みた水の井戸」とか「さみだれ井戸」と呼ばれ、深さ3m近くもあって、空梅雨にも水は枯れず、いつもこの水で湧き上がり、昔はこの湧き水だけで田折の象は暮らしてあったんだよ。今はしとして溜水のようにとてもとくに湧く井戸に見えぬけれど、観音様は水を求める人には汲めば汲むほど水を下さったんだよ。

その頃は観音みた水の井戸は汲みただけおしみなく水をくめる。あふ出る井戸だったよ。井戸の所に大きな平たい岩があって、あふれた水が流れる水路と岩を使って洗濯をしたり、野菜を洗ったり、お勝手やお風呂に水を汲んで運んだり、暮らさないと要る水はぜんぶ観音様のお水だったんだ。ほいで観音みた水の井戸の周りにはいつも村の象の音がにぎやかで、誰がどうしたこうしたと村中が家族みだいだ、たのま。

泉の水は使えば使っただけ水道が通って水が湧く。清寿院の観音様の井戸は汲めば汲むほど水をくめて、祈れば田んぼに水をくめて、田折の象の暮らしを守って来てくんだね。

